

報道関係各位

News Release

2026 年 9 月 11 日

KDDI 株式会社

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス

**5G ミリ波をバックホールとしたキャリアフリーWi-Fi を
「ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2026」へ商用導入**

KDDI 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：松田 浩路、以下 KDDI）と株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：向吉 智樹、以下 Wi2）は、2026 年 9 月 12 日から 13 日、19 日から 21 日に千葉県で開催される国内最大級の野外ロックフェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2026」（以下 本イベント）において、5G ミリ波をバックホール（中継回線）として活用したキャリアフリーWi-Fi（以下 本ソリューション）を商用導入します。

本ソリューションは、キャリアフリーWi-Fi として提供されるため、au 回線・他社回線を問わずご利用いただけるほか、5G ミリ波対応スマートフォンをお持ちでないお客さまでもご利用いただけます。これにより、来場者の通信環境を強化します。

また、本イベントでは、本ソリューションに加えて、昨年までと同様に会場内各所へ Starlink を活用した Wi-Fi も展開します。来場者だけでなく、運営スタッフや出店者にも通信環境を提供することで、快適で安心なイベント運営を支援します。



<5G 対応の車載型基地局（左）／飲食エリアにおける Wi-Fi 提供（右）>

■背景・目的

大規模な野外フェスなど、短時間で多くの来場者が集中するイベント会場では、データ通信の急増による回線混雑が課題となっており、KDDI と Wi2 は混雑エリアにおける通信品質の向上および快適な通信体験の提供に取り組んでいます。2026 年 8 月に開催された「コミックマーケット 108」において、両社は 5G ミリ波中継器およびミリ波バックホール Wi-Fi の試験導入を実施し、モバイルネットワークの負荷軽減と快適な Wi-Fi 通信の有効性を検証しました（注1）。

本イベントにおいても、「来場者が快適に過ごせる通信環境の整備」「飲食エリアにおけるモバイルオーダーの導入拡大による行列緩和」などのニーズが寄せられ、通信環境を強化する目的で、本ソリューションの導入に至りました。

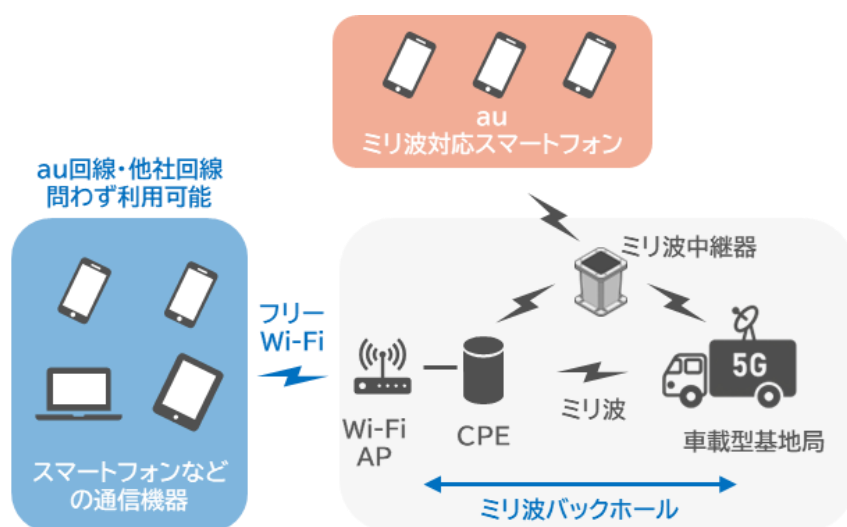
■本ソリューションの特長と仕組み

・キャリアフリーで誰でも利用可能

au 回線・他社回線を問わず Wi-Fi に接続可能です。ミリ波対応スマートフォンをお持ちでないお客さまでも高速通信が利用できます。

・5G ミリ波をバックホールとした Wi-Fi の仕組み

会場内にミリ波搭載の車載型基地局および 5G ミリ波中継器（注 2）を搭載した車載型基地局を配備します。ミリ波回線をバックホールとし、ミリ波電波を通信機器（CPE:Customer Premises Equipment）、で受信し、Wi-Fi アクセスポイント（Wi-Fi AP）を介して、Wi-Fi として利用できる仕組みです。



<本ソリューションの構成>

<利用方法>

STEP1：SSID「JFES_FREEWi-Fi」を選択し、ブラウザを立ち上げます。

STEP2：利用規約を読み「同意する」を選択。

■本イベントにおける Wi-Fi 環境の提供価値

KDDI と Wi2 は、利用者が極めて多く通信が集中する飲食エリアに、大容量通信が可能な本ソリューションを導入するほか、会場内各所へ Starlink を活用した「au Starlink フェス Wi-Fi」を展開します。エリア特性に応じた通信環境を構築することで、以下の提供価値を実現します。

1. モバイルオーダーの拡充・行列の緩和

安定した通信環境を構築することで、飲食エリアにおけるモバイルオーダーの導入規模を従来の 1 カ所から 3 カ所へ拡大します。来場者は自身のスマートフォンからスムーズに注文・決済が可能となり、屋外での待機列や待ち時間を大幅に緩和します。また、注文管理が円滑化することで、出店者のオペレーション効率向上にも貢献します。

2. 来場者への快適な通信環境の提供

飲食・休憩エリアをはじめとする混雑エリアにおいて、来場者が誰でも快適にインターネットを利用できるフリーWi-Fi環境を提供します。フェス体験の合間でも、SNS の閲覧・投稿や連絡手段としてストレスなくご利用いただけます。

3. 運営本部やスタッフエリアの業務支援

イベントの円滑な運営を支えるため、運営本部やスタッフエリアなどのバックヤードにおいても、混雑の影響を受けにくい安定した通信環境を確保し、スタッフ間の連携や業務オペレーションを支援します。

(参考)

■本イベントにおける KDDI の通信対策について

本イベントでは車載型基地局を合計 4 台導入し、いずれも 5G (Sub6) および 5G SA (注 3) に対応しています。昨年の車載型基地局 3 台から 4 台へ増強するとともに、全ての車載型基地局に Sub6 の 2 つの周波数 (3.7GHz 帯/4.0GHz 帯) に対応した無線装置「Dual Band Massive MIMO Unit (DB-MMU)」を搭載しました。1 つの周波数のみに対応した従来装置と比較し、最大 2 倍のお客さまが接続可能となります。さらに、車載型基地局 4 台すべて 5G ミリ波に対応 (親局 2 台、中継器 2 台を搭載) し、通信利用が集中するエリアにおいても快適な通信環境を提供します。



<対策予定場所>

(注 1) 2026 年 8 月 14 日 トピックス

コミックマーケット 108 における屋外の 5G エリア対策を実施、ミリ波中継器搭載の車載局も初導入

https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-1128_4676.html

(注 2) ミリ波 (28GHz 帯) 通信エリアを効率的に拡張する無線中継器。

(注 3) 5G SA (Stand Alone) : コア設備や基地局なども含めて 5G 専用の技術と設備で構成した 5G サービス。4G LTE の混雑状況によらず 5G の高速・大容量の通信が可能。

<https://www.au.com/mobile/service/5gsa/>

以 上